

(案)

第10回審議会
資料1

第4号様式(第10条関係)

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第9回武蔵村山市長期総合計画審議会
開 催 日 時	令和2年9月25日(金) 午前10時00分から午前11時40分まで
開 催 場 所	中部地区会館(市役所4階) 401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：和田委員、阿部(慶)委員、阿部(和)委員、石塚委員、佐藤委員、杉原委員、高橋(薫)委員、高橋(玲)委員、石川委員、平野委員 欠席者：なし
議 題 等	1 報 告 (1) 第8回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について (2) その他 2 議 題 (1) 国土強靱化地域計画について (2) 第五次長期総合計画前期基本計画(素案)について (3) 武蔵村山市長期総合計画審議会答申(案)について (4) その他
結 論 (決定した方針、 残された問題点、 保留事項等を記載 する。)	議題(1) 国土強靱化地域計画について： ・国土強靱化地域計画について、委員の意見を素案に反映することとした。 議題(2) 第五次長期総合計画前期基本計画(素案)について： ・前期基本計画の素案について、委員の意見を素案に反映することとした。 議題(3) 武蔵村山市長期総合計画審議会答申(案)について： ・答申案について、10月2日(金)までに事務局に意見を提出し、その意見を答申案へ反映、次回の審議会で審議することとした。 議題(4) その他について： ・次回の審議会は、10月19日(月)の午前10時から開催することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開 会 (会 長) 本日は全委員が出席であり、有効に会議は成立する。傍聴者はいない。 2 報 告 (1) 第8回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について 資料1に基づいて事務局が説明 —質疑・意見等— (委 員) 1ページの下から9行目、“キャッチボールはだめ”という箇所は、下にもあるように「ボール遊び」に合わせてほしい。 (事務局) 了解した。 (会 長) 修正のうえ、承認したいがよろしいか。 (委 員) 異議なし。 (2) その他 参考資料に基づいて事務局が説明 —質疑・意見等— (事務局) 具体的な修正内容については議題の中でも説明させていただく。 (委 員) 異議なし。

3 議 題

(1) 国土強靱化地域計画について 資料2に基づいて事務局が説明

－質疑・意見等－

- (委 員) 国土強靱化地域計画は、国から計画を作るよう言われているようだが、国からの予算の裏付けはどのようになっているか。
- (事務局) 今も道路整備等で国の補助金はあるが、この地域計画を策定した市町村には優先的に配分される等の措置が予定されていると聞いている。
- (委 員) 今までより増額されると考えてよいか。どこの自治体も策定した場合、予算措置はできると思うか。
- (事務局) 増額があるのか、またどのくらいになるか具体的には判断できない。都内でも策定した自治体はまだ少なく、多摩地域では八王子市くらいであり、武蔵村山市は早い方だと考えている。
- (委 員) 想定される自然災害について、他の地域ではこれまで発生した災害は古文書に載っている例があるが、武蔵村山市でもそのような古文書は残っているか。
- (事務局) 災害を記述した古文書はないと思う。海沿いであれば津波でここまで来たという記録はあると思うが、本市にはそういった場所も無いと記憶している。
- (委 員) 三ツ木のほうで、断層がずれたところがあると聞いたが、把握されているか。
- (事務局) いわゆる立川断層があるというのはわかっているが、それがどのように影響してくるかについては、解明されていない。日産の跡地を掘るなどして調査したが、武蔵村山市内に存在するという決定的な証拠は見つからなかった。
- (委 員) 武蔵村山での災害はどのようなものが想定されるか。竜巻はあるか。
- (事務局) 竜巻についてはいつどこで発生するかわからない災害なので、発生する可能性はある。
市内で想定される大きな風水害で命に係わるものとしては、土砂災害が懸念されており、昨年も対象地域に避難勧告を出している。
- (委 員) 北部のほうか。
- (事務局) 野山北公園のあたりなど、危険な地域が都で設定されており、居住者には説明をしている。
- (委 員) 土留めなどされないのか。自己負担になると思うが。
- (事務局) まずは命を守るために避難していただくことを重視している。
- (委 員) 3ページの下に基本計画に「強靱化」のアイコンをつけるのであるが、これからつけるということか。
- (事務局) おっしゃるとおり。
- (委 員) 強靱化に向けた取組においてコミュニティは重要だと思う。自治会の加入率は低いことから、コミュニティを活性化するため、市で音頭を取っていかないと難しいのではないか。
- (会 長) 地域計画の地域コミュニティの欄をみると、多数の死傷者の発生に対して、地域コミュニティが何らかの役割を果たすとか、そのためのどういう仕組みが必要であるとか、そこまでの記述をするのか。
- (事務局) 脆弱性の評価の項目があり、具体的には資料編の掲載予定である。その課題が8ページの表につながっていくという作りにする予定である。地域コミュニティがどのように関わってくるのかといえば、何かあった時にすぐに市が駆け付けられない場合

	<p>があるので、そういう時には地域の皆さんが助け合っていたきたいという意味合いがある。</p> <p>(会 長) 地域コミュニティもパートナーシップも、人が支えるという点では大事なことだと。 1章から6章までの基本計画との関係性を書き込んでいただければと思う。</p> <p>(委 員) 自治会の役員をやっているが、国土強靱化に係る話は来ていないので、お話しいただければ具体的に住民が動けると思う。</p> <p>(委 員) 自治会の加入率が3割を切っている。災害時には、東京都も防災隣組という考え方を示しているの、そういう組織づくりを進めてはいかがか。</p> <p>(事務局) 自主防災組織が自治会レベルで組織されている。自主防災組織の組織化を進め、その中で対応できないか。</p> <p>(委 員) 自治会とは別のアプローチが必要だと思う。</p> <p>(会 長) 東日本大震災により、コミュニティが国を含め自治体において再評価された。地域コミュニティの計画が2010年代の中期くらいから多くの自治体で改めて作り直されている。既存の自主防災組織をテコ入れしていくことも一つの方法だと思うし、ボランティアな仕組みも必要だと思う。</p> <p>(委 員) 加入率を高める方策が必要だと思う。転入時は加入を勧めやすいが、だいたい経つと加入を勧めにくい。自治会や市職員で、加入を勧めていく必要があると思う。</p> <p>(会 長) 自治会の加入率が低くなるのは、新たに入る人が少ないことと合わせて、加入していた人が高齢化などで退会している人が多いという2つの側面があり、それが広がってきている。何かアイデアを出していかないと共倒れになってしまう。 防災隣組も、地域での関係作りが大事なことだと思う。 地域とボランティア性をどう作り上げていくかが課題となっている。 国土強靱化にどのように反映していくかは、難しいところであると思うが、本日の意見を反映して策定を進めてほしい。</p> <p>(2) 第五次長期総合計画前期基本計画（素案）について 資料3に基づいて事務局が説明</p> <p>－質疑・意見等－</p> <p>(会 長) 「強靱化」のアイコンは、最初に入っている。 自主防災組織の記述も第3章にある。</p> <p>(事務局) 避難行動支援者への支援も、地域コミュニティに近い取組である。自分では避難できない方の名簿を作っており、その情報を市で管理している。名簿の提供については、個人情報となるため、広く配布することはできない。具体的には消防団や民生委員に名簿を配布することになると思う。各避難所には、鍵をつけて名簿を置いてある。</p> <p>(委 員) 避難所に避難した人が対応するようになっているのか。</p> <p>(事務局) まずは自分の身を守るために避難所に避難し、ある程度災害の状況が落ち着いた状況で、名簿を踏まえて活動することとなると思う。</p> <p>(委 員) 避難所の責任者は決まっているか。</p> <p>(事務局) 学校が避難所になっており、近くに住んでいる職員で初動隊を組織しており、鍵を開けることになっている。日中であれば学校の先生が開けるが、時間外であればその初動隊員が開ける。 また、避難所ごとに避難所運営マニュアルの作成を予定してい</p>
--	---

	<p>る。</p> <p>基本的に要支援の方の避難誘導は、本部からの指示で動くことが基本である。本部からの指示で、避難所の責任者が判断していく。誰が動くのかはこれから詰めていく必要がある。</p> <p>(委員) 消防団だけで対応は難しい。プロでない人が行っても二次災害の恐れがある。</p> <p>(委員) 避難所の職員の責任者は決まっているか。</p> <p>(事務局) 体制は決まっており、各職員も認識している。</p> <p>(委員) 去年の台風15号で避難をした。犬を連れて避難したところ、別の部屋に案内していただき、職員もてきばきと動いていて心強かった。満員になった避難所の情報も携帯電話で受け取れた。</p> <p>(委員) 運営マニュアルを使った訓練が必要だと思う。住民の理解も深まると思う。</p> <p>(事務局) 避難所の開設訓練を、これから市の職員が行うところである。その中ではペットのことも含めてシミュレーションをする予定である。その次の段階で、各避難所で訓練を行っていく必要があると思っている。</p> <p>(委員) 情報共有、告知の仕方で“広報紙とホームページ等で”とある部分がいくつかあるが、これにSNSも加えてほしい。</p> <p>(事務局) そのようにしたい。</p> <p>(委員) 157ページ、指標1の経営耕地面積は128.81ヘクタールである。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(委員) 成果指標の矢印の色が、背景色と混ざって見にくい。</p> <p>(事務局) 調整する。</p> <p>(委員) SDGsの位置づけもあり、所管課名も掲載されていて分かりやすくなったと感じた。</p> <p>(委員) SDGsのマークは、反転ではなく基本の文字白抜きのほうが見やすい。また、SDGsがどこで決められたのかなどの一文があると理解しやすい。</p> <p>(事務局) 昨年まとめた基本構想に記述しているので、次回お示しする。</p> <p>(委員) わかりにくい言葉、一般的でない言葉には注釈を入れてほしい。ユニバーサルデザインとか。各ページに掲載してはいいか。</p> <p>(事務局) 記載する予定である。</p> <p>(委員) 「公共データのオープンデータ化」は進めてほしいが、どこまで進めるか。</p> <p>(事務局) 市が持っているデータはオープンデータで、ホームページに掲載していこうということである。 個人情報や特定の人に不利益が生じる恐れがあるデータ以外は基本的にすべてオープンにするということを進めている。</p> <p>(委員) 行政のデジタル化を国が進めようとしているが、市ではどのように考えているか。</p> <p>(事務局) アフターコロナの中では、デジタル化を進めていこうということになると考えている。</p> <p>(会長) 「住民参加」という表記があるが、「市民参加」で統一されてはいいか。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(委員) 各課で個別の計画をつくっているのでも、継続している計画についてはその資料を掲載してほしい。</p> <p>(事務局) 資料編で整理するなど、関連計画は掲載したい。</p> <p>(委員) 今年度並行して策定している計画は、この基本計画とリンクしていると考えてよいか。</p> <p>(事務局) 長期総合計画が最上位計画であり、それにぶら下がる計画は、</p>
--	---

